

使用上の注意

1 使用に際しての注意

- 1) 使用の前に必ずラベルをよく読み、十分理解した上で使用すること
- 2) 定められた使用方法を厳守すること。間違った使い方をすると、効力不足や健康を害することがある
- 3) 環境を汚染しないために乱用は避けること。また、井戸、地下水などを汚染するおそれのある場所、水棲生物等に被害を及ぼすおそれのある場所では使用しないこと
- 4) 希釈する場合は水がはね返らないようにして、均一に攪拌し、手や指で直接かき混ぜるようなことはしないこと。薬液の容器は専用のものとし、他と兼用はしないこと
- 5) 使用に際しては、必要量だけを分取して、その都度使い切ること
- 6) 本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないこと
- 7) 病人、特異体質者、妊婦、乳幼児等は、薬剤の影響の無い場所に移動させること。薬剤によって、アレルギー症状やカブレ等を起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には従事しないこと
- 8) 食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、観賞魚、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品等はあらかじめ他へ移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにすること

2 使用中または使用後の注意

- 1) 塗装面やプラスチック、石材、漆喰、白木等に薬剤が付着した場合は変色・変形する場合があるので、覆い等の処理をして薬剤がかからないようにすること
- 2) 保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)および使用する機械器具は、あらかじめよく点検整備しておくこと。使用に際しては、保護具は必ず着用し、身体の露出部を少なくして薬剤を浴びないようにすること。なお、屋内での使用後は必ず換気を行うこと
- 3) 通気の悪い場所での作業は、局所換気装置を利用するなど通気に十分配慮して、無理な作業は行わないこと
- 4) 作業現場では薬剤が部外者に誤用されないように注意し、作業場には立入禁止等の表示を行う等の措置をすること
- 5) 原液は引火のおそれがあるので、火気のある場所では使用しないこと。また、電気火花が発生しそうなところでは電源を切ってから使用すること
- 6) 薬剤の散布中は喫煙、飲食をしないこと。使用中または使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行くこと
- 7) 使用後は必ず、また薬剤が皮膚に付いたときは直ちに石けん水でよく洗うこと。万一、薬剤が目、口などに入った場合には、直ちに水でよく洗い流すこと。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。また、必要に応じて、医師の診察を受けること

- 8) 万一、謝って薬剤を飲み込んだ場合や、薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合等には、直ちに使用を中止、清浄な空気の場所で安静にして、医師の診察を受けること。医師の診察を受ける際には、使用薬剤の名称、成分名、症状、被曝状況等について出来るだけ詳細に医師に告げること
- 9) 作業時の衣服は他の衣服と区別して洗濯し、保護具も洗剤を使ってよく洗うこと。薬剤処理に用いた機械器具類もよく洗うこと
- 10) 使用済みの空容器等は、石けん水でよく洗い、小児が触れないようにするとともに、他に転用しないこと。汚染した器物や洗浄液は、作業現場から持ち帰り、処分に当たっては、自治体の条例や指導に従って処分すること。決して、河川、湖沼、下水道の水系や地下水を汚染するおそれのある場所には、捨てないこと

3 保管上の注意

- 1) 使用後に残った薬剤は、ラベル表示のある元の容器に密封し、他のものと区別して保管すること
- 2) 保管場所は、小児の手の届かない所で、直接日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする

4 その他の注意事項

- 1) 購入した薬剤は速やかに使うこと
- 2) 寒冷地などで、結晶が析出した場合には、60℃以下のお湯で温浴させ、溶解させてから使用すること
- 3) 漏洩した場合には次のように処置すること
 - ① 薬剤が漏洩した場合は、吸収性の媒体、例えば、砂、軽石、ポロ布、オガクズ等に吸着させ、広がりを阻止して回収すること
 - ② 薬剤が漏洩し、火災の危険が生じた場合には、すべての火元を止め、火災の誘発を防止する措置を講じること
 - ③ 漏洩した薬剤が井戸、池、河川などの水系に流入した場合は、直ちに警察または保健所に届け出ること
- 4) 火災事故の場合には次のように処置すること
 - ① 火災の拡大を軽減する最大の措置を講じること
 - ② 薬剤が燃焼すると有害なガスが発生するおそれがあるので、人を非難させること
- 5) ラベルに記載した使用方法や注意事項などを守らないで生じた事故についての責任は負うことができません。
- 6) 使用に際してのご不明な点や事故等があった場合は、製造元へご連絡ください

※下線部分は、乳剤のみの注意事項

持続性に優れたシロアリ防除剤

ピレスロイド様シロアリ防除剤

エコロフェン[®]

乳剤

土壌処理用(防蟻)

油剤

木部処理用(防蟻・防腐)



 **三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社**

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
TEL: 03(5290)2700 FAX: 03(3231)1171
ホームページ <https://www.mc-croplifolutions.com/lifolutions/>

お問い合わせ、ご相談は当店へ。(ご相談・調査・見積り無料)

®エコロフェンは登録商標です。

2023.03

 **三井化学**
グループ

三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

社団法人日本しろあり対策協会認定薬剤 社団法人日本木材保存協会認定薬剤

エトフェンプロックス製剤

速効性・持続性に優れたシロアリ防除剤

エコロフェン[®] 乳剤 (土壌処理用防蟻剤)
油剤 (木部処理用防蟻・防腐剤)

社団法人日本しろあり対策協会認定薬剤
社団法人日本木材保存協会認定薬剤

エコロフェンは

人と建物の味方です。

特長

- ① 建物の大敵シロアリに対して、速効性と持続性に優れた効力を発揮します。
- ② 油剤は木材に対して強い浸透性があり、木材防腐効力をあわせもっています。
- ③ 他のピレスロイド系薬剤に比べ哺乳類・魚類に対する毒性が低い薬剤です。
- ④ 皮ふや粘膜に対する刺激や臭いが少ない薬剤です。
- ⑤ 居住者や周辺的环境に対する影響が少ない薬剤です。

有効成分

エコロフェン乳剤

エトフェンプロックス (ピレスロイド様殺虫剤) ……30%

エコロフェン油剤

エトフェンプロックス (ピレスロイド様殺虫剤) ……0.3%

シプロコナゾール (木材防腐剤) ……0.1%

使用方法

エコロフェン乳剤

水で75倍に希釈してください。

標準処理量：帯状散布 5L/m²

面状散布 3L/m²

エコロフェン油剤

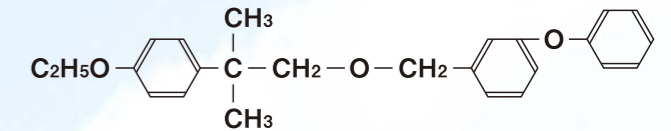
原液のまま使用してください。

標準処理量：吹付・塗布処理 300ml/m²

有効成分の構造と特長

エトフェンプロックス

ピレスロイド様殺虫剤で、人畜に対して毒性の低い薬剤です。従来のピレスロイド系殺虫剤と比べ、皮ふや粘膜に対する刺激が少ない殺虫剤です。



シプロコナゾール

強力な木材防腐剤。
木部処理によって強い防腐効力を示します。

